2025年度 東洋大学 知的財産実用化促進プログラム 研究計画書

作成日：2025年　　月　　日

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究テーマ | | | | | |
|  | | | | | |
| 研究代表者 | | | | | |
| 所属学部・学科 | | 職　名 | 氏　名 | | |
|  | |  |  | | |
| 実用化を目指す発明名称 | （出願・登録番号等：　　　　　　　　　　　　　） | | | 発明の状況 | 職務発明認定  出願中  登録 |
| 実用化を目指す発明名称 | （出願・登録番号等：　　　　　　　　　　　　　） | | | 発明の状況 | 職務発明認定  出願中  登録 |
| 実用化を目指す発明名称 | （出願・登録番号等：　　　　　　　　　　　　　） | | | 発明の状況 | 職務発明認定  出願中  登録 |
| 実用化が見込まれる分野・製品 |  | | | 実用化見込時期 | 5年以内  5～10年  10年以上先 |
| 発明の研究状況 | 企業等と共同で研究開発中 （共同先：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  本学内（単独）で研究開発中 | | | | |
| 企業等からのアプローチの状況 | | | | | |
|  | | | | | |
| 実用化への課題（（１）自己の研究開発範囲内における課題と、（２）自己の研究開発範囲外における課題（別途解決が必要な項目、法令・規制、など）とを分けて記載ください。） | | | | | |
| (1)  (2) | | | | | |

**研究計画**

|  |
| --- |
| 実用化のための具体的な研究計画を記載してください。  上記に記載した実用化への課題をどのように解決するのか。実用化までのロードマップの中で、2025年度の本研究がどのような位置付けになるかを記載してください。 |

文字の大きさや様式を変更せずに（図等の挿入は自由）、研究計画は2ページ以内としてください。

**研究費計画**

（単位：千円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 勘定科目 | 明細※複数ある場合は以下の欄内に複数行で記入してください（縦位置は揃えて記入してください） | 金額 |
| 機器備品費 |  |  |
| 消耗品・準備品費 |  |  |
| 旅費交通費 |  |  |
| 図書資料費 |  |  |
| 業務委託費・謝金 |  |  |
| 印刷製本費 |  |  |
| 人件費 |  |  |
| その他の経費 |  |  |
| **合　計** | |  |